

心のバリアフリー教育の推進

< 今年度の取組等紹介 Vol.8 >

～各学校の実践紹介～

優れた成果のあった学校を年度末に選定し、「グッドプラクティス」として顕彰します。

船橋市立海神小学校

パラリンピアン
金メダリストの
講師 永尾由美
さんによる講演



授業を受けて
各自チャレンジ
したいことを
記入

パラリンピックを題材とした道徳授業

- 道徳教材「義足の聖火ランナー～クリス・ムーン」を活用し、地雷で手足を失ったパラアスリートを支えた思いや自分たちができる行動についての授業を実施
- 日本財団パラスポーツサポートセンターの「あすチャレ!ジュニアアカデミー」を活用し、実際にパラアスリートと交流

[児童の感想]

- ・自分の苦手なものに挑戦したり、最後まで諦めずに取り組んだりしたい。
- ・互いに協力合って生活できる社会になるように、自分の心にある偏見をなくしたい。
- ・さまざまな個性があり、それらを認め合うことをたくさんの人に伝えたい。

ミニ集会での地域交流

- 共生社会の実現を目指し、他者を理解しようとする気持ちや、スポーツに親しみ、楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てるため、パラスポーツを通じた地域住民との交流を実施
- 交流前の事前学習として総合的な学習の時間で、『I'm POSSIBLE』日本版教材を活用

[児童の感想]

- ・ポッチャは誰とでも一緒にできるスポーツだと思った。どんな人でも楽しめるスポーツを、自分たちも考えたい。

[地域住民の感想]

- ・子供達と一緒にプレーができ、パラスポーツの楽しさを共有できた。地域でもやってみよう。

栄町立安食台小学校

心のバリアフリー教育地域拠点校



地域住民とのポッチャを通じた交流

「グッドプラクティス」の顕彰とは

心のバリアフリー教育の取り組みにおいて、他の学校にとって参考となり、優れた成果があったと認められる学校を「グッドプラクティス」として県教育委員会教育長が顕彰し、賞状および記念品を授与します。

ご応募をお待ちしています。

※令和4年5月12日付け教政第74号【心のバリアフリー教育グッドプラクティスへの応募について（依頼）】参照

お問い合わせ先

企画管理部教育政策課

電話043-223-4177